
入り語り

da1go

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人リ語リ

【NZコード】

N3739H

【作者名】

daigo

【あらすじ】

人リ語リシリーズの第一作目「友と母と空」です。第一次世界大戦の日本で空軍に志願した主人公斎藤幸太朗そこで出会った友と、故郷の母そして幸太朗の夢だった空...人リ語リ一作目は、哀しくも儚い命のお話です。

その一 ～友と母と空～（前書き）

今回の時代背景は一応歴史通りですが、違う所や作った所など気に
なる方は御遠慮ください。 それでは、入り語り
て頂きます。

その一　～友と母と空～

世に溢れる様々な話から今宵はどんな世界が描かれるか…
人リ語り
させて頂きます。

時は1944年 第一次大戦真っ直中の日本のある 一人の
兵隊のお話お話。

彼の名は 斎藤 幸太朗田舎から御国の方にとばる四国地方

は香川県から上京して来た若干二十歳の青年である。

「やっぱり、東京は人が多いさねえ…」

「そこの貴様！此所で自分の郡言葉は禁止
だ！」

「つ！…？」突然の怒鳴り声に幸太朗は驚
き振り向いた。

「貴様、名を名乗れ」 「じ、自分は斎藤

幸太朗新兵であります！」幸太朗は敬礼し答えた。

「はつはつは、スマシスマン。あまりにも田舎者ぽかつたのでつい
からかつてみたくなったんだ。スマシな。」幸太朗は

「は、はあ

と呟きながらも一安心した。

「俺は、大橋真一 同じく上京したばかりの新兵だよ。」大橋は軽
く敬礼し、挨拶した。

「ところで斎藤、君は何処の軍部に所属するつもりなんだ？」大橋
は尋ねた。

「自分は、空軍第3師団に志願したよ。」幸太朗は昔から飛行機に
憧れ、パイロットが夢で勉強し、四国でも名門の国立の大学で学ん
でいた。

「おお！ そうか、俺も第3師団に志願したんだよ。」偶然にも幸太朗が同じ軍部だと知ると大橋は親近感が湧いた。それは幸太朗も同じであった。

そして二人は、空軍に入隊した。

一年後、日本の戦況は大分不利になっていた。海では戦艦大和が沈み、陸では東京大空襲が起っていた。

大和の撃沈により日本の戦術は戦艦から、航空機に変わり始めていた。一年間の訓練を通して幸太朗と大橋はいつしか無二の親友になっていた。幸太朗達の部隊は大活躍していた。が、しかし、

「日本軍ガ、戦争ニ勝ツ為ニハ、資源ガ足リナ過ギル。」それは、突然の出来事だった。

幸太朗達の零戦部隊は、最強だった。しかし、米軍はそれ以上の戦闘機を開発した。そして、零戦は最強では無くなってしまった。

しかも、日本軍がそれ以上の戦闘機を作るのには、もう資源が無かつた。

続く

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3739h/>

人リ語り

2010年10月11日23時38分発行